



災害時における備えについて

昨今、台風や地震など自然災害による被害が非常に多く発生しており、いざという時の備えはとても大切です。

水は**1日1人1リットル**、調理等に使用する水を含めると、**3リットル程度の水は必要**とされています。

缶詰又は調理せずに食べられる備蓄食料品(アルファ米、乾パン等)とあわせて、3食分は備えておきましょう。



また、災害時には飲料水以外にも多くの生活用水が必要です。その際に役に立つのが「お風呂の残り湯」です。すぐに捨てずにためておくと、いざというとき役に立ちます。

給水所には、水を入れる容器をお持ちください。ふたの閉まるポリタンクやペットボトルなどの容器を日頃から準備しましょう。



水道局からのお知らせ

まだ口座振替の手続きがお済みでない方へ

ご指定の口座から自動的に支払いができますので、支払い忘れがなくて**安心**です。納付のつど金融機関等に出向き、窓口でお待ちいただく必要がなく、支払いの手間が省けて**便利**です。

水道料金のお支払いは**安心・便利な口座振替を!!**

詳しくは、営業課へお尋ねいただくか、ホームページをご覧ください。だき、申込みをお願いいたします。



News

アルカスSASEBOで行われた「文化マンス」に参加したピッチとチャップ

Contents

01 水道管の防寒対策について

02 災害時の備えについて

03 水道局からのお知らせ



水道管の防寒対策 お早めに！

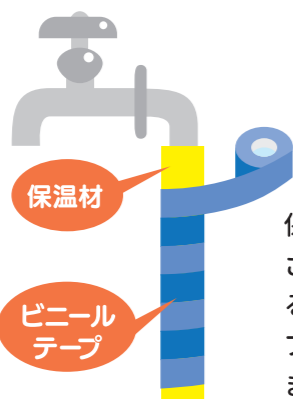
外気温がマイナス3度以下になると、地上に露出している水道管は凍ってしまい、水が出なくなったり、破裂する原因となります。



凍結を防ぐための対策2項目！

対策1

水道管に布や保温材をまいて保温する。



保温材を巻いた跡は、さらに保温効果を高めるために、ビニールテープでしっかり補強をしましょう。



ほかにも、温水器・給湯器周りの凍結にもご注意ください。

対策2

夜間に少しだけ水を出し続ける。



ただし、水道料金がかかりますので、溜まった水は、雑用水として有効にお使いください。



平成28年1月の大寒波の際は、佐世保市内で約4,000件の水道管が凍結、破裂し、約7,200世帯が断水の影響を受けました。

もし、凍結してしまったら

自然解凍を待つか、凍結している場所をタオルなどで覆って、ぬるま湯をゆっくりかけてください。

解凍の仕方

蛇口付近から根本の方向へ、ゆっくりかけてください。



急激に温めると破裂する恐れがあるので、熱湯はかけないでね！！



寒い季節がやってくると、『水道管の防寒対策』のステッカーを貼った水道局車両が市内各地で走っており、早めの対策を呼び掛けています。



もし、破裂してしまったら

元栓を閉め、水を止めた上で、お近くの水道局指定給水装置工事業者に修理を依頼してください。

元栓の閉め方

開閉レバーは取り付け地区や、設置した年により形状が異なりますが、基本的に90度回転すると止まります。

佐世保市指定給水装置工事業者については、水道局ホームページをご覧ください



ご家庭の元栓の位置はご存じですか？もしもの時に備えて、普段から位置を確認し、操作できる状態にしておきましょう！



宅地内に引き込まれた水道管は、お客様の財産です！事前の備えでしっかり対策しましょう！！